

基準決定の場合の方が取得原價主義に依る場合よりも必ず多くなるといふことはないであらう。

總資本費は再造時價主義に依る場合の方が取得原價主義に依る場合よりも少ないといふ議論さへ立ち得るのである。建設相數(consuinction indexes)は高物價時期の方が低

物價時期よりも餘計に建築が行はれることを示してゐる。従つて取得原價に依る利潤は高物價建設に従つて測定されるのに反して、再造時價に依る利潤は斯かる根據には依らないであらう。それ故に資本費總額は再造時價主義に依る方が却つて少ないことになるべき筈なのである。(未完)

## 都市町農村の道路政策 (三)

藤 田 宗 光

### 五、道路政策と經濟

(一) 國府縣道の改良、道路政策が如何に積極的に考究され、實施されるかは、國の産業開發が如何なる過程の下に進捗し、且つ將來の開發に如何なる餘裕と貢獻を齎らすかを如實に物語る、従つて之が政策に力を注ぐと否とは直ちに國內百般に類を及ぼすは必然なるを以て古來この方面

については洋の東西を問はず考究され、今尙完全なる施設を見るに至らず、更にこの方面に力を注ぎ産業開發と國運隆昌に邁進しなければならぬ。

道路政策は國家の存在する限り永久に考究され、改良され直且行き詰る事のない大きな存在として、時世に君臨する經濟界の暴君であり同時に國礎盤石の母であると云ふこ

とが出来来る。

翻つて我國の道路政策を見るに各時代を通じ時世に適正なる施設と對策が講ぜられ今日に至つたのであるが、一新紀元を劃するに至りたるは明治より大正であり、現今の如き向上と進歩を齎らしたるは大正の末期以來の事である。

最早大體に於て全國的に道路網が敷かれ、漸次改良も施され之により國內の産業、文化の發達、都市の發展、國力の充實、國威の發揚等凡ゆる方面の向上と進歩に寄與した功績は誠に甚大なるものである。然らば國內に於ける道路網の狀況如何と云ふに、先づ、國道、府縣道に指を屈せねばならぬ、國道は東京を中心として全國各府縣廳所在地、重要港灣、師團所在地、鎮守府所在地等に至る路線であり各府縣は、この國道を根幹として更に府縣内に於ける重要地との交通、他府縣との連絡とを考慮して府縣道を設置し、更に又市町村道等を加へ現在に於ては道路系統なるものは充分なりと迄は行かなくとも僅々にして異常なる發達と改良を促すに至り諸種の事業施設をして今日の隆盛を導きた

る基礎をなすに至つたものである。

道路施設によりて如何に國內の産業が開發され凡ゆる方面に至大の關係を有するかは屢々述べた所にして、亦何人と云へ共熟知する處である、要は如何にして最も經濟的に且有利的な道路を完成し、國家に寄與するかにある茲に道路政策の重要な所以が存在するのである、小は一地方の繁榮に、大は國運の隆昌に係るを以て、之に關する行政の重要なるは實に非常時に於ける軍備と共に更に一層の重要性を有するものである、然らば現在に於ける國道並府縣道は之を以て完全なりと云ひ得ざる現状にあるを以て、今後更に改良修築を施し道路行政の過誤なからん事を期せねばならぬ、國、府縣道については尙幾多の改良と缺陷あるは勿論であるが早急に考究すべき問題として、都市に於ける道路系統、道路幅員が重要視される昨今に於て、地方道路が餘りに等閑視されてゐると思はれるのである、勿論、修築と改良は日々行はれてゐるであらう、然し道路の目的は唯に自動車、其の他交通機關の需要に應ずるのみならず、廣

く産業方面に至大の關係を有するものなれば既存の道路改良元より等閑すべきではないが、更に一步を進めて地方道路系統の樹立を攻究し必要に應じては幅員の擴張を施し、産業經濟の兩方面より更に對策を講ずべきではなからうか、都市を中心とす地方道路、國道、府縣道、市町村道に至る迄統一的に更に検討すべき餘地ある事を思ふ時、先覺者の英斷により國、府縣道のよりよき實現を期したいものである。

(一) 既成市街地の改造、都市及び農村に於ける活動の源泉は道路である、従つて道路の完備すると否とは直ちに國民生活の安定に、産業の伸展に極めて密接なる關係にある。過去に於ける我國の都市施設が都市の發展に先驅するは愚か、足許にだに追隨し得ざりしは誠に遺憾の極であるが之が我國都市をして今日をあらしめた最大の原因となつたのである。

顧みるに都市計畫法が實施される様になつた時には既に

都市は手の施し様もない位い混亂と無秩序に陥入つてゐたのである。

都市人口集中と、各種商工業の隆盛とに伴ひ各般に亘り大きな缺陷を見るに至りたる時、唯唯然たらざるを得なかつたのである。

之が改革を施すならば恐らく財政上の破綻を來す位に思はれたのである、然し人力は誠に偉大なものである、結果は尙遠遠の感がないでもないが或る程度迄に進歩と改良を見るに至つた事は喜ぶべきことである。

既に各都市に於ける道路系統は實施し、漸次舊市街地の改造に邁進せんとしつゝあるのであるが、道路系統の確立により如何に都市を改造するかは道路政策上極めて大きな問題である、都市計畫として決定した道路を都市計畫事業として完成する事は容易な事でなく、去りとして何時迄も放任するに於ては都市計畫の目的達成は出來ないのである。各都市に於ては市街地改造の急務なるを熟知するに拘らず財政の窮乏により容易に實行することを得ないのである。

然らば都市の改造として如何なる方針ありや、と云ふに現在の我が國策として遺憾乍ら積極的對策は見當らないのである。従つて直ちに都市改造を實行する事は容易な技でない、然も市街地の改造は近代都市に與へられた大きな宿題である、早急に解決しなければならぬ當面の問題である。

茲に現代都市の大きな悩みが存する。然りと云へ共各都市は唯都市の發展を自然の儘に放任するやと云ふに、さにあらず、日に新に膨脹と發展をなしつつある新市街地への對策、日夜目撃する所の舊市街地の缺陷を匡正すべく努力してゐるのである、舊市街地の改造として各都市が如何なる對策により實行しつゝあるやと云ふに大體次の如くである。

- 一、單獨事業による都市改造
- 二、區劃整理による密集市街地の改造
- 三、震災、火災による都市改造
- 四、風水害による都市改造
- 五、橋梁架設を機として道路の擴張を利用して都市改造

以上の方法によりて都市の改造を漸次實行しつゝあるのであるが、多くは單獨事業によりて市街地改造を實施してゐるのである。主要道路の擴張等がその主なるもので各都市の競つて實施しつゝある處である、土地區劃整理の目的は宅地の利用増進であり、多くは未開發地にして、將來に於て發展せんとする潛勢力ある地區を以て健全なる市街地の構成を計らんが爲に實施するものであるが、既成市街地に之を實施する事も極めて效果あるものである、特に單獨事業（土木事業、都市計畫事業、下水事業、橋梁架設等）に伴ひ之と相俟つて實施する事は經費の點より、効果の點より多大の利益があるのみならず頗る土地區劃整理の實績を擧げるものである、市街地に於ける土地區劃整理の代表的なるは、東京、大阪、名古屋、神戸、京都、延岡等に於て實施したるもので何れも極めて好成績を擧げてゐる。

震災、火災によりて都市改造をなすは各都市の既に着眼せる處である、東京が近代の粹を集めて世界に誇る都市を建設するに至りたるは一に震災に因るものである、火災に

よる市街地改造としては彼の北海道に於ける函館市であらう又舊市街の全改造は宮崎縣の延岡市が特筆すべきである、都市全體に亘りて根本的より改革匡正を施され新計畫の下に着々實行中である完成の暁は近代都市としての面目を施し、斯界に多大の貢獻をなすものとして世人の注目する所である。

火災を利用しての都市改造は何れの都市を問はず實行してゐるのであるが、風水害や橋梁架設等に當りて例へ部分のでも市街地改造に邁進するは最も適切なる方策である何と云つても現在の我國都市改造は一朝一夕に實現することは不可能であり、幾多の困難に遭遇することを豫期しなければならぬ、將來に於ける都市機構は愈々複雑となり、多岐に亘りつゝある狀況にあるを以て、例へ巨額の經費を要すると雖も、國家、國民の發展は希はざるべからず、されば百般の施設に早急を要する中に於ても現代生活と密接不離にある。都市の缺陷を匡正すると共に無秩序に發展せんとする都市を防止し、健全なる都市繁榮策を講ずることは

都市民の經濟的活動を援助するものにして延いては一國の繁榮であり興隆である、思へば都市に對する積極的對策の今少し考究されん事を希望して止まない次第である。

舊市街地の改造は何れの都市を問はず早急に實行しなければならぬ、都市問題の擡頭と共に幾分緩和されたとは云へ、今後の推移に任せたらば、更に大きな缺陷を齎すであらう。然れ共現在に於ては都市改造として前述以外になり、法制上から見るとならば都市一般に適用される所の都市改造としては唯區劃整理の實施のみである。

都市計畫は恒久的事業であり、土木事業は現實の事業であると斷ずる者もある、然り土木事業の緊要にして國策として早くより攻究され、國民利福に多大に貢獻をなすつゝあるを、然れ共都市改善も亦現代日本が背負つて行かねばならぬ重荷の一である。早急に解決して行かねばならぬ問題である。故に眼前の小利を捉へ將來の大策を誤ることは施政者の一考すべき點である。

(三) 新市街地の建設、近代文化の發達が凡ゆる方面に

急速なる進歩を促すに至るや、都市は幾多の缺陷を醸すに

至り、我國都市をして改造の止むなき事態に逢着するに至つたのである。顧みて尙幾多の改善すべき餘地を残してゐるのではあるが、僅々にして我國都市の向上と發達は確かに驚嘆すべき發展を來してゐるのである。特に市街地に對する改造に對しては年々改良が施され、最早今日に於て

は都市自體を新なる眼で見なければならぬ様になつた、今日の都市發展の趨勢から觀るならば最早市街地の改造と云ふことは容易な事でない、中小都市に於ては財源豊富なるに於ては改造敢へて不可能とは云ひ得ざるも、大都市に於ける市街地改造の如きは極めて困難であり且巨額の經費を要し、影響する所も頗る甚大であるから年々都市改造は六ヶ敷いものとなつて行くのである、故に各都市に於ては凡ゆる方策と機會を利用して改造に邁進してゐるのである。

然るに現在の都市を如何に立派に改造するとも之を以て直ちに圓滑なる發展と向上は期待されない、都市は角度を

郊外へと伸張しつゝあるからである。

茲に都市の動向を仔細に検討し、新市街地に對する方策を樹立する必要がある、今後の都市政策上一考すべき問題である。

我國の都市は短日月にして大いに發達した。無統制ではあつたけれど向上した點もあり、漸次改良も施されたのである。更に將來に於ても一段の改造が必要である。しかし過去に於ける都市政策は確かに誤りであり、一定計畫の如きは殆んど樹立してなかつた。唯單に市街地の改造にのみ熱中して、郊外地に對する認識がなかつた、將來必然的に膨脹する處の郊外に對する計畫は何等顧慮されてゐなかつたのである、従つて各都市に於ける都市構造は近代文化の發達と共に幾多の業害を演ずるに至つたのである。市街地密集と人口集中とは圓滑なる都市の發達を阻害するのみならず聽て收拾すべからざる缺陷を醸成するのである。現在の都市を達觀するに一部分の改造にのみ偏重して、新市街地に對する計畫が殆んど顧りみられなかつたがため今日の

無統制な都市を構成したのである。然らば如何にして都市を改造し、新市街地の構成を期すべきかと云ふに、其の策頗る廣汎に亘るも其の主要なるものとして先づ第一に區劃整理の實施である。區劃整理の目的は都市に於ける宅地の利用増進を圖るにあるのであつて畢竟都市住宅地への對策が主眼である。然れ共現在に於ては舊市街地の改造としても極めて有益なることが認識せられる様になり各都市に於て活用せられつゝあるのであるが、しかし何と云つても區劃整理は新市街地の對策として最善のものであり、今後の都市政策に之を等閑することは出来ないのである。

區劃整理は新市街地への對策として最もよく効果を發揮し、大都市は元より近年に至りて極めて廣く實施せらるゝ様になつた、都市政策は頗る廣く考究され、且之程重要なものもないのである。而して都市問題を解決するものは將來膨脹發展せんとする地位にある新市街地への對策如何にある。如何なる所に、如何なる工場が適するか、如何なる方面に都市は擴大して行くか、都市の將來を判斷し、來

るべき新市街地を豫想して區劃整理を實施することは最もよき都市政策であり、市街地發展の曙光であると云はねばならぬ、郊外地に對するものは市街地に比し遙かに經濟的であり、効果の大なることも言を俟たざる所であるが、最も經濟的なる方面から云ふならば人家稠密せざるに先ち施行することが最も得策である、區劃整理は一日早ければ、それだけ利用も早く、都市經營上からも多大の利益あるものである。區劃整理の都市に及ぼすものとして先づ土地の發展、地價の騰貴、建築物の増加であり、市街地と郊外との對比から考慮すれば補償費の輕減となる、之等の見地より近時郊外地に對する區劃整理は頗る増加するに至つた。

次に新市街地の對策としては、他の單獨事業との合流であらう、即ち下水、運河、道路、會社（工場）學校等の事業、建設等によりて之等事業に合流して新市街地の構成を圖るはより以上に經濟的であり、實現も極めて容易である従つて之等の機會を逸せず、良く之を利用して郊外地の活用を圖り、以て新市街地發展を講ぜんとするは、都市政策

上頗る有意義なるものにして今後益々郊外地に對する認識と對策とを等閑してはならぬ。

郊外地に對する新計畫は將來の發展に對する豫測を誤らざれば頗る實行は容易である。

元來我國に於ける都市政策は、都市改造にのみ着眼され、然も重要道路の擴張に多くの力を注ぎ、實質的都市改造は施されなかつた、況んや未開地計畫の如きは痴人の夢としか思つてゐなかつたのである、茲に我國都市をして今日の缺陷を齎らした所以である。

活眼を大局に注ぎ、計畫は遠大なるべく、然かも都市は郊外へくと急激なる膨脹をなしつつある時、吾人は當面の社會に於て差迫つて必要としない事をも考慮し、且は現在の需要に應じ乍ら將來への施設觀察を怠ることなく、財政の輕減を計ると共に百年の大計を樹立し、將來の混亂と缺陷を豫防し、都市をして農村をして、一見何人も國運隆昌を觀破する様期したいものである。

(四) 農村道路の實現、現在の農村は事實上非常なる苦

境に直面してゐるとの聲が擡頭し、農民の負擔輕減、農村更生の政策に力を注がねばならぬ、と朝野爲政者間に喧傳されるに至つた事は誠に喜ぶべきで、久しく農村は政治問題から遠ざかつて居た様である。最近には都市計畫の發達と共に、農村計畫なるものが必要視される様になつたのであるが、之も農村救済に對する政策の現はれであらう。

農村計畫としても頗る廣く、大いに攻究すべき幾多の問題が残されてゐるのであるが、

先づ現在の農村道路の状態を述べて見たいと思ふ。農村疲弊の現はれと見るべきか、最近の農村道路の状態は實に悲慘である、都市に近い町村道の如きは、或る程度の修理と擴張とを見るのであるが、一般農村に於ける道路は人々の歩行すら困難を感じる現在である。

道路が迂餘曲折してゐる事は止むる得ないのであるが、頗る狹隘であり、荷馬車等の關係で非常に道路が毀損されつつあるのは見逃すべからざる所である。歩行の困難は多く之によるのである。昭和六年以降に於て、道路改良事業



として、失業救済、農村振興の名の下に各町村にて新設した道路は相當の幅員ありて利用價值もある様であるが、交通經濟上より見て聊か遺憾の點がある。農村道路の目的は農村と、都市との交通關係に重きを置くと共に農村の爲の道路である事を忘れてはならぬ。

最近に於ては自動車の發達が目醒しく、農村に至る迄運行する様になつたので農村道路についても新しい知識を必要とするに至つた、如何に農業上の利用と、農村自體の爲になるかを考慮して計畫を爲さねばならぬ、勿論農村道路と云へ共附近に都市存在するに於ては都市計畫的見地から考慮の必要があり、有機的活動を期すべく計畫せねばならぬ。

我が農村道路の如きは仔細に検討するならば幾多の缺陷と、不經濟を醸してゐる事は争へぬ事實である。農村の利用を圖り、農村を救ひ、農村計畫の第一歩として、農村道路を再検討し、之を改良し農民の福利を圖るは一人農民のみならず、都市と農村との密接不可分なる今日、極めて意

義ある對策と云はねばならぬ、經濟的から云つても農村道路は都市道路に比し遙かに低く、目的、環境を異にする丈けに實施に至れば容易に實現するのである決して都市道路のみが、農村道路より緊要なりとは斷定し得ない、共に國家的見地から云ふならば同一でなければならぬ、然れども完全なる農村道路の實現としては容易なこととなく、急速なる解決は望めないものであるが農村振興上最も必要なるは、地方都市との關係を考慮して府縣道の統制が急務である。

都市と都市、農村と都市、港灣と都市、農村と農村等を連絡するは凡てこの府縣道の利用に俟たねばならぬのであるか、この府縣道は時に都市道路であり、農村道路である關係上極めて重要な任務を有するので之を根幹として更に農村道路が配置されてゐるのであるが、都市道路以上に無統制であり、考究の餘地を残してゐる、勿論道路法に基いて相當なる研鑽の上決定され、維持されてゐるのであらうけれど農村道路、地方道路は一つの交通道路であると同時に産業開發、農村振興と云ふ方面に多大の使命を有する

ことを忘れてはならぬ、府縣道路選定要件として、道路法に掲げてあるものは、一々首肯するに足るのであるが、要するに府縣内に於ける主要交通道路であり、密接なる關係にある樞要地を連絡するものであるとするならば、都市道路の改良進歩に比して、餘りに考慮されてゐない、農村道路特に然りと云ふべきである、特に農山漁村にありては折角豊富なる物資あるも之を搬出すべき道路なきため生産の増進を圖ることが出来ないのは畢竟農村道路、地方道路に對する綜合計畫なきに基因するものにして、等閑視されてゐるとの誹を免れぬ。

最近又國民生活の安定なる言葉が擡頭し新聞紙上に種々なる對策を見受ける様になつたのであるが、誠に國民生活の安定は急務であるのみならず、政治の要諦は茲にあるのである世界各國を通じて之を望まざる者はなく、國家施設の百般、社會の凡ゆる機構悉く之を目的とし、日夜營々として邁進してゐるのである。されば國民生活の源泉たる。産業を振策し、生産を増進し、國民所得の増加を圖る

のは最も經捷なる國民生活安定の根本對策がなければならぬ、茲に地方開發と産業振興を期する上に密接不可分なる農村道路と地方道路の完全なる統制が必要であり、道路改良の急務がある。然りと云へ共、道路は一の重要な經濟問題である。同時に道路と農村、農村と産業、地方の開發共に大きな經濟問題が存在し、之が對策を一步誤らんか、影響の甚大なるは云ふに及ばず國民生活の安定、國勢の伸張上よりは極めて緊要でなければならぬ。然かも農村道路と地方道路の綜合計畫は現下の急務であり、農村振作を國策として更に新なる攻究を以て望まんとする昨今の情勢に鑑み特に農村道路をより經濟的にして且效果の大なる樣計畫し完成されんことを期待するものである。

#### 六、經濟的綜合計畫の樹立

(一) 都市に於ける道路を如何に經濟的に執行するかは、直ちに都市の繁榮と都市民の經濟狀態に關係するを以て、路政者の卓越なる見識を要するは云ふ迄もない。道路の配置、施設、巧拙が如何に廣く影響を及ぼすかは、既に

攻取られてゐるのであるが、之が執行に當りては交通、美觀、其他都市民日常生活の利便に極めて密接なる關係にあるは勿論、特に沿道建築物、附近一帯の繁榮を左右し、居住者の生活權迄支配するものなるを以て、こうした一見眼に見えざる方面に多大の考慮を拂つて執行しなければならぬ。

然らば如何にして最も經濟的な道路執行をなすかと云ふに、經濟的綜合計畫の確立に俟たねばならぬ、現在に於ける道路政策は甚だ遺憾の點多く、路政者の一考を煩したる點が多々あるやうである。即ち不經濟な點として二三の例を擧げて見るに次の如き其の最も顯著なものと云ひ得るであらう。

#### 一、調査機關の不備

先づ第一に調査機關の不備を擧ぐべきであらうが、就中調査の第一歩たる測量の不經濟である。一都市に於ける或る種の計畫に對し、それらの立場から基礎調査として測量をなすのであるが、大局的見地より都市政策上攻取すべ

き問題の一つである。先づ遞信省、鐵道省、市役所、縣廳内務省等同一地區の測量は大きな損失であると云はねばならぬ之等は綜合的機關の設置により救はれる問題である。

第二は道路執行に當りては良く都市の將來性を洞察する事である、例へば新設するにしても、改修するにしても道路幅員を考慮せずして執行する事は大きな損失である。吾人は、この例を再三見受ける、特に斯界の路政者にして直且道路幅員と人口、交通状態の豫想に缺く者あるを見受けるのであるが、折角の道路が數年を出でずして更に擴張を要するならば甚だ不經濟と云ふよりも、都市の機構をして面白からぬ結果を齎すや必然と云はねばならぬ、擴張の難事なるに鑑みて餘りに現在道路に執着したり、道路買収費に巨額の經營を要するの故を以て僅かの幅員に對して節約したる事が、やがて擴張するの餘儀なき事態に逢着したならば、更に大きな損失であり、不經濟と云はねばならぬ、路政者の卓越せる見識を必要とする所以が此處に存するのである。

### 三、道路實現後の缺陷

都市改善の第一として道路の擴張、新設は各都市の最も意を注ぎつゝある處であるが、吾人の甚だ不愉快なるはこの道路完成後に於て、地下電話線、上水道、下水道、瓦斯管理設等の工事により道路に及ぼす影響である。之れは各都市に於て多く其の例を見受けるのであるが、最も遺憾に思ふのは舗装道路の破壊である。

以上の工事による再三、再四の道路破壊が如何に不經濟であり、都市民の不便と、商店街の蒙むる損害が如何に夥しきかを思ふ時之が對策として綜合機關の必要を痛感するのである。之は道路政策上一日も等閑すべきでない以上は現實に絶へず見聞する所にして、國家財政の窮乏せる今日と云へ共道路政策を放棄する能はざる都市の發展に鑑み、綜合道路政策の樹立を促し度い一事である。

### 四、各部門に對する計畫

港灣、河川、道路、水道、下水道、都市計畫、飛行場、鐵道、軌道、電車、高速度機關、地下埋設物、道路上の地

上權、耕地整理の工事に就ては現在に於ては何等統一されたる機關なく、爲に莫大なる損失を蒙りつゝあるは遺憾に堪へない。都市政策、道路政策上大いに攻究すべき問題で一日も早く之等綜合計畫の樹立を期したいものである。同時に之等事業の執行を利用し、綜合的に工事を執行するは最も策を得たるものと云ふべく、經濟的なるは論を俟たない處である。賢明なる道路政策が如何に經濟的であり、更に都市の發展と都市民の利便、福利がどれ丈け大きなものであるかを思ふ時、一人都市と都市民のみならず、道路政策の巧拙が國家財政に寄與する處更に大なりと云ふべきである。實に道路政策は緊要にして、幾多の攻究すべき問題を殘してゐる。(終)